



決め手は、青森県産。

りんご生産情報第13号
(10月23日～11月5日)



令和3年10月22日発表
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

ふじの熟度は、3日程度早い！
収穫は有袋果が10月27日頃、無袋果が11月1日頃から!!
強風に備え、風害防止対策を万全に!!!

I 概要

10月21日現在、ふじの果実肥大は、概ね平年並から平年をやや下回っている。

10月19日現在、ふじの熟度は平年より3日程度早く進んでいることから、収穫始めは黒石で有袋果が10月27日頃、無袋果が11月1日頃からと見込まれる。ふじの熟度の進みからみて、王林の収穫も平年より早い10月26日頃からと見込まれる。

炭疽病、輪紋病などの被害果は適切に処分し、シンクイムシ類の被害果は健全果に混入しないよう徹底して選別する。

果実疫病の感染を防ぐため、果実に泥が付着しないように注意する。収穫した果実は長く野積みをしていない。

強風に備え、防風網の点検、補強など風害防止対策をしっかりと行う。

II りんご生産情報

1 果実肥大、果実熟度、作業の進み

(1) 果実肥大

10月21日現在、ふじの果実肥大は、概ね平年並から平年をやや下回っている。

○果実肥大（10月21日現在、横径cm、平年比%）

地 域	年	ふ じ
黒 石 (りんご研究所)	本 年	8.8
	平 年	8.8
	前 年	8.9
	平年比	100
青森市浪岡 (東青地域県民局)	本 年	8.5
	平 年	8.5
	前 年	8.8
	平年比	100
弘前市独狐 (中南地域県民局)	本 年	8.5
	平 年	8.8
	前 年	8.9
	平年比	97
板柳町五幾形 (西北地域県民局)	本 年	8.8
	平 年	8.8
	前 年	8.9
	平年比	100
三戸町梅内 (三八地域県民局)	本 年	8.6
	平 年	8.6
	前 年	8.5
	平年比	100

注 各県民局のデータは農業普及振興室の生育観測ほ調査データ

(2) 果実熟度

10月19日現在、無袋ふじは平年値と比較して、糖度は高く、ヨード反応はやや高く、着色指数は同程度、硬度及び酸度は低い。総合的に見て、熟度はやや進んでいると見込まれる。

有袋ふじは平年値と比較して、糖度は高く、ヨード反応は同程度、硬度、酸度及び着色指数は低い。総合的に見て、熟度はやや進んでいると見込まれる。

○ふじ（無袋）の熟度の進み

（調査月日：10月19日）

地 域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応	蜜果率 (%)	蜜入り 程度
黒 石 (りんご 研究所)	本年	333	2.7	15.4	14.8	0.356	3.0	42	0.4
	平年	328	2.8	15.7	13.5	0.399	2.8	71	0.8
	前年	353	2.0	14.6	12.9	0.327	2.5	33	0.3

注1 平年：2001年～2020年までの20か年平均。

2 着色指数：0～5（大きい数値ほど着色良好）

3 ヨード反応：ヨードでんぷん反応指数0～5
（小さい数値ほどでんぷんが少ない）

4 蜜入り程度：0～4（大きい数値ほど蜜入りが多い）

○ふじ（有袋）の熟度の進み

（調査月日：10月19日）

地域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応	蜜果率 (%)	蜜入り 程度
黒石 (りんご 研究所)	本年	328	2.2	15.5	13.7	0.354	2.9	17	0.2
	平年	320	3.3	16.1	12.9	0.391	2.8	40	0.4
	前年	355	1.9	15.2	12.5	0.331	2.5	33	0.3

注1 平年：2003年～2020年までの18か年平均。

2 除袋日：9月24日外袋、29日内袋除袋。

(3) 作業の進み（10月20日現在）

ジョナゴールドの収穫は終盤を迎えている。

ふじの葉摘み、玉回しが行われている。

2 作業の重点

(1) 晩生種の収穫

ア 王林、ふじ

ふじの熟度は平年より3日程度早く進んでいることから、収穫始めは黒石で有袋果が10月27日頃、無袋果が11月1日頃からと見込まれる。ふじの熟度の進みからみて、王林の収穫も平年より早い10月26日頃からと見込まれる。

王林、ふじの収穫時の標準指標

品種	地色	硬度 (lbs)	糖度	ヨード反応	蜜入り程度	食味
王林	4～5	14～16	13%以上	2～3	—	3.5以上
ふじ有袋 無袋	—	14～16	13%以上	2程度	1程度	3以上
	—	13～16	13.5%以上	2以下	2以上	4以上

注1 地色：果実カラーチャート・リンゴ・王林の指数1（濃緑色）～7（黄色）

2 食味：指数1（未熟）～5（非常に良好）

イ 星の金貨、シナノゴールド、ぐんま名月

収穫始めは、星の金貨が10月22日頃、シナノゴールドが10月23日頃、ぐんま名月が10月27日頃である。

シナノゴールドは、収穫時期が遅すぎると油あがりが多くなるので適期に収穫する。

ぐんま名月は、収穫時期が遅すぎると果心部に褐変症状がでることがあるので適期に収穫する。年明け以降は、果肉の軟化や蜜褐変の発生が多くなるので、年内販売とする。

(2) 山選果の徹底

本年は、6～7月の小雨、夏場の高温の影響で、ビターピットの発生が見られる。また、各地で日焼け果や陽向面やけの発生も見られるので、出荷先の選果基準に基づき、きちんと分別して出荷する。

シンクイムシ類による被害果を流通させないために、収穫した果実は、選果時に徹底して選別する。

(3) 風害防止対策

強風に備え、防風網やわい性台樹の結束状況などを再度点検し、補強や取り替えを行う。

幹や主枝などに空洞が生じている樹や腐らん病の被害を受けた枝や樹は、支柱で支え、ひもなどで補強する。幼木は倒伏しやすいので支柱を立てて結束する。

(4) 病害虫対策

ア 果実疫病（おそ疫病）

反射資材を片付ける際には、土を飛散させないようにし、りんご樹にかけて干さない。収穫用のかごや箱の土はあらかじめ洗い落としておく。

降雨時の収穫は行わない。やむを得ず収穫する場合は、果実に泥が付着しないように注意する。地面に落ちた果実は収穫した果実に混入させない。収穫した果実は長く野積みをしていない。

イ 炭疽病、輪紋病

被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

ウ 腐らん病

収穫時につる折れ、つる抜けとして残ったつるから病原菌が侵入し、来年以降の発生につながるの、つるが果台に残らないように丁寧に収穫する。つるが残った場合は必ず果台から取り除く。

エ 黒星病

被害葉・果は感染源となるので、見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

二次伸長葉に黒星病の発生が見られた場合は、来年の感染源となるので、必ず摘み取って処分する。

オ シンクイムシ類

被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

3 一般作業

- (1) 鳥害防止対策 (2) 野ネズミ対策

4 今後の作業予定（11月6日～）

- (1) 晩生種の収穫 (2) 病害虫対策 (3) 風害防止対策
(4) 野ネズミ対策 (5) 雪害防止対策 (6) 堆肥づくり、酸性土壌の改良
(7) 園地清掃

《 農業保険に加入し、農業経営に万全の備えを!! 》

農業保険には、果樹共済、農業経営収入保険などがあります。自分の経営にあった保険を選択、加入して、自然災害をはじめとしたリスクに備えましょう。

※詳しくは、お近くの農業共済組合まで、お問い合わせください。

秋の農作業安全運動展開中！事故のないよう十分注意しましょう！

園地を見回るなど、りんごの盗難に注意しましょう！

次回の発行は令和3年11月5日（金）の予定です。

県民の皆さまへのお願い
新型コロナウイルス感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>

連絡先：りんご果樹課生産振興グループ
電話番号：017-722-1111 代表
内線5093、5094
017-734-9492 直通